

ごみ処理の現状の課題と方向性

1. ごみ量の現状の課題

① ごみの処理実績から見る課題

表 1-1 ごみ処理実績

項目	現状の問題	課題
生活系可燃ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭から出た可燃ごみ量が増加している ・生ごみが 40%、資源が 25%含まれている 	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ量を削減 ・資源の分別を促進
粗大ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ量が増加している 	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ量を削減
資源ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック製容器包装と雑紙が可燃ごみで捨てられている 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な分別の促進
事業系可燃ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値を達成できなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業系ごみの削減

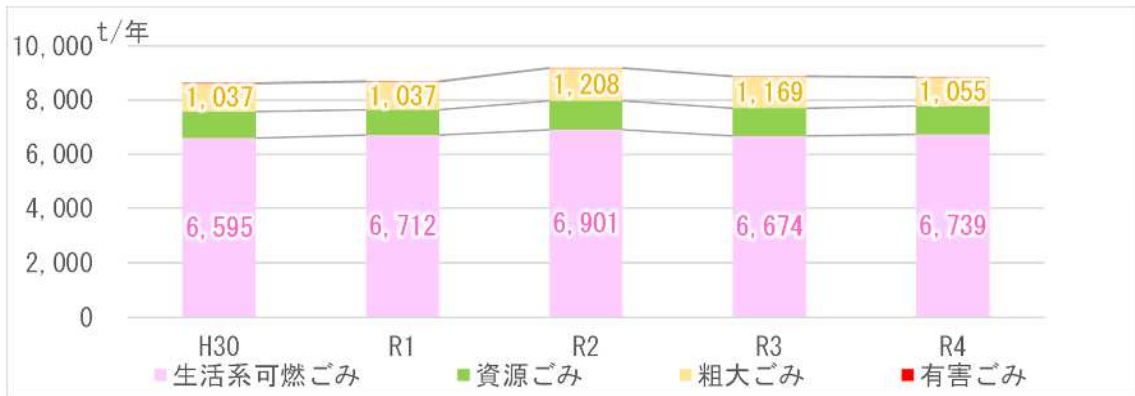


図 1-1 ごみ処理実績



図 1-2 事業系ごみ処理実績と減量目標

② 施策実施状況から見る課題

表 1-2 施策の課題

未完遂の施策	現状の問題	課題
ステーションでの可燃ごみ及び資源ごみ収集回数の見直し	・資源ごみの収集回数増加が実質的に困難	・資源ごみの収集以外の回収方法の検討
多量排出事業者に対する減量化指導	・事業所ごみの施設搬入段階での指導しかできない	・資源化を含めたごみの減量化指導
高齢者、障がい者世帯に対するふれあい収集の検討	・対象者の実態数把握が困難	・対象者を把握する必要がある

③ 国の方針と瑞穂市の現状からみる課題

国の方針

- 廃棄物の減量その他適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針（環境省告示第四十九号（令和五年六月三十日））
- 廃棄物処理施設整備計画（令和5年6月30日閣議決定）

表 1-3 国の方針による課題

項目	現状の問題点	課題
資源循環の強化	・十分な分別が行われていない	・資源化しやすい環境の整備
脱炭素化の推進	・プラスチック製容器包装が可燃ごみに含まれている ・製品プラスチックが未分別	・プラスチック製容器包装の分別促進 ・製品プラスチックの分別開始
高齢化社会への対策	・家庭からのごみ出し困難者に対する対策が進んでいない ・紙おむつの資源化は未検討	・家庭からのごみ出し困難者に対する対策検討 ・紙おむつの資源化業者の調査、検討

④アンケート集計結果からみる課題

表 1-4 アンケートの結果による課題

項目	現状の問題	課題
(資源ごみ 意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・収集回数が少ない、集積所に沢山あつて捨てにくい ・遠くて持って行くのに困る ・分別の基準が分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな資源回収方法の検討 ・分別方法の啓発強化
(ごみ排出先 意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ステーションや美来の森への搬入可能な日時に都合が合わない ・排出場所が遠くて持って行くのが手間 	<ul style="list-style-type: none"> ・回収拠点の日時の見直し ・別の回収方法の検討
啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素に関して、家庭でできる取り組み内容を知りたいという方が多い ・ごみ袋を高いと感じている方が多い ・再利用（リユース）の実施率が、3Rの中で最も低い ・外食や買い物時の食品ロス削減のための取り組み実践割合が低い ・金属類を無料回収業者に出している方が3割弱みえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素の家庭でできる取り組みの啓発 ・ごみ処理経費の情報提供 ・リユースの強化 ・食品ロス削減の啓発 ・適切な処理の啓発

2. 課題から考える方向性について

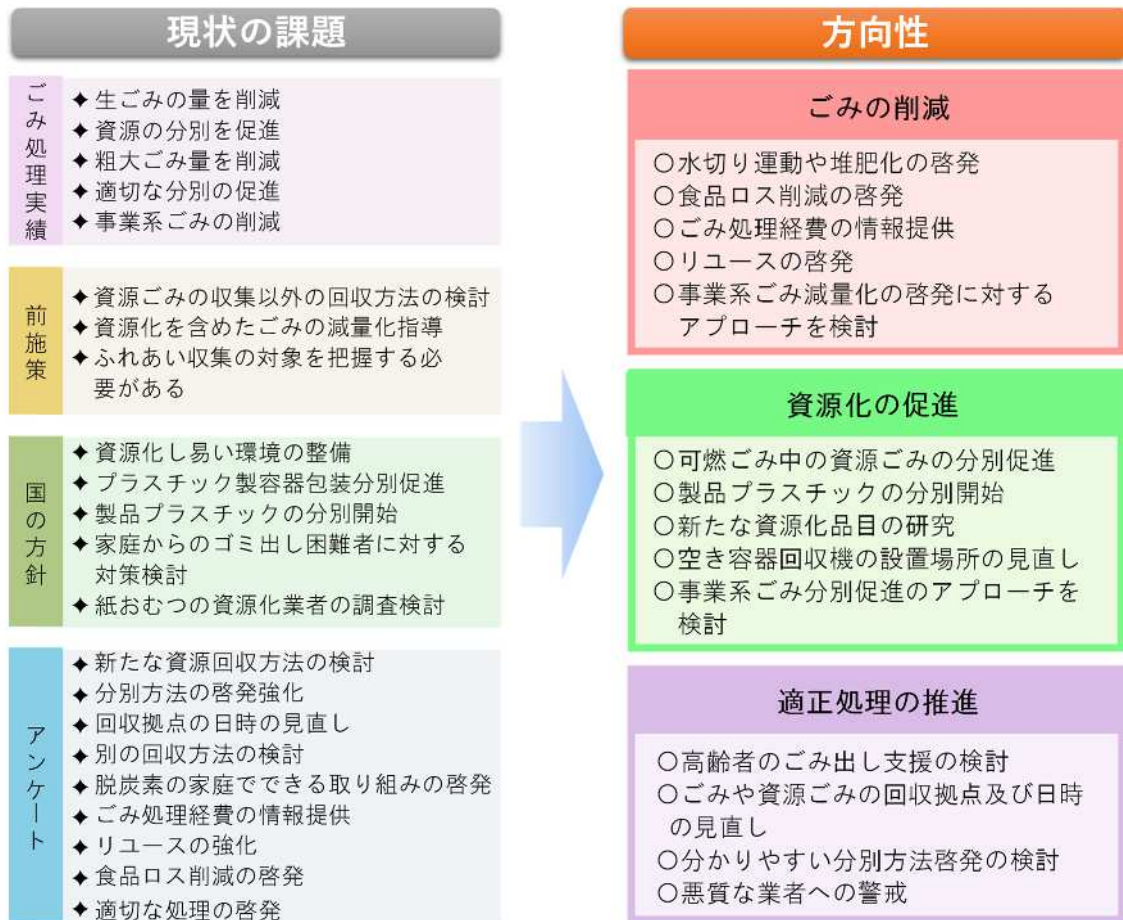


図 2-1 瑞穂市のごみ処理における課題と方向性